

出題のねらい

英語基礎学力が正確に身につけているかだけでなく、その力を日常生活やアカデミックなシーンで運用できるかどうかを試すことが出題のねらいです。

大問Iは、文法、語法と語彙の基礎知識の定着をみる単文問題です。大問IIは、日本のマンガ文化がいつ頃から海外に人気になってきたのかを、ドラゴンボールを取り上げて説明しています。空所を埋める適当な表現を見つけるためには、文脈を正確に理解する力とともに、文法や語法の知識も必要になります。大問IIIは対話の問題です。女子大生ふたりが、留学費用を賄うためのアルバイト探しをする内容です。空所の前後から自然な会話の流れを理解するコミュニケーション能力が要求されます。大問IVは、米国のピュー研究所の報告書の内容を取り上げています。米国における図書館がその地域社会の中でどのような役割を果たしていると考えられているかを住民アンケートのデータから分析しています。文脈をたどりながら、内容を正確に捉えることが大切です。

[I]

【解答】 (24点)

1	①	2	③	3	③	4	③	5	③
6	②	7	①	8	②	9	②	10	④
11	②	12	④	(各2点×12)					

【解説】

- 品詞の問題です。副詞の late を選びます。lately は「最近」の意味になります。
- 比較級の問題です。
- wonder if 節で「…どうかと思う」の意味になります。
- 「どちらも…ない」の意味になる neither を選びます。
- 関係詞の問題ですが、be invited to の形になることに気をつけましょう。
- 過去形になることに注意しましょう。
- 「石油産出国」の意味で、分詞の形になります。
- at the cost of は「…を犠牲にして」という慣用句です。
- information は不可算名詞ですから many や few は使えません。
- 仮定法過去完了の文です。
- 「他の誰よりもよく知っている」の意味になる better になります。
- 「現在に一番近い」という意味になる last が正解です。「最近三週間ロンドンに行っていた」

[II]

【大意】

日本のポップカルチャーは海外でもよく知られるようになってきている。もしあなたが多くの若い海外留学生になぜ日本に来たのかを尋ねたら、日本の漫画やアニメに関心があったから来たと言うことがしばしばある。『ワンピース』、『ゴルゴ13』、『ドラゴンボール』は2000年代半ば以降英語版が出版されたもっとも成功した漫画の3つである。英語のアニメ版もまた1990年代後半から放映されてきた。これら3つの漫画・アニメシリーズで『ドラゴンボール』はおそらく一番よく知られている。『ドラゴンボール』はシリーズものだが、猿の尻尾を持つ悟空と呼ばれる男の子と友達になるブルマと呼ばれる十代の女の子の話で始まる。ふたりは一緒に世界中に散らばった7つのドラゴンボールを探そうとする。もしふたりが7つのボール全部を手に入れるのに成功したら、神龍が現れ、願いを一つ叶えてくれる。彼らの冒険の旅では、その他多くのキャラクターが登場し、ふたりは多くの障害や課題に遭遇する。メインキャラクターが子どもから大人に成長するにつれ、『ドラゴンボール』の様々なシリーズが作られてきた。ストーリーは現代の創作のようだが、『ドラゴンボール』は、中国文学の4つの古典的傑作の一つと考えられている中国の16世紀の小説『西遊記』からヒントを得ている。そこでは、一人の僧が、古代の神聖な仏典を探しに中央アジアとインドを旅している。『ドラゴンボール』のように、ドラゴンボールが同じように欧米諸国で紹介されるより以前の50年前に『孫悟空』が英語に翻訳され『西遊記』は人気が出た。

【解答】 (30点)

13	⑦	14	⑧	15	④	16	⑨	17	⑤
18	②	19	①	20	⑥	21	③	22	⑦
(各3点×10)									

【解説】

海外で人気の日本のポップカルチャーのエッセイです。中でも人気の『ドラゴンボール』を取り上げ、そのストーリーやベースになっている小説について説明されています。

難易度の高い語彙は使われていませんので、空所の前後の単語に注意しながら、まず入るべき品詞を確認します。そして、文脈から文意を捉えて読み進めると解答をみつけることができます。

【Ⅲ】

【解答】 (15点)

23	⑥	24	①	25	⑧	26	②	27	⑦
(各3点×5)									

【解説】

アナが秋には海外研修に行きたいから夏にアルバイトをしたい、とサクラに相談します。コンビニでのバイトを勧められたアナは遅くまで働けないと答えています。サクラにバイト先の探し方を尋ねられ、アナがタウンワークのホームページの使い方を教えると、サクラもバイトを探そうかな、と言います。彼女は休暇を利用してニューヨークに行きたいから貯金しているのですが、実は、海外研修先は同じくニューヨーク、けれどもサクラは夏に行きたいので、渡航先ではアナと会えません。

対話文は情報のやりとりになりますから、会話の自然な展開に注意してください。

【Ⅳ】

【大意】

大部分のアメリカ人は、図書館が地域社会や自分の家族の教育や学習のニーズを提供するのに相応しい仕事をしていると考えている。ピュー研究所による新しい調査では、76%（「たいへんよく」が37%、「かなりよく」が39%）の成人が、図書館は地域社会の学習や教育のニーズを満たしていると答えている。さらに、71%が図書館は彼ら個人と家族のニーズに「たいへんよく」または「かなりよく」応えていると述べている。

概して、学びの場における図書館の実績は、女性や黒人、ヒスパニック、低所得世帯、30才以上の人たちからよりよい評価を得ている。同時に、多くの人が、図書館が電子書籍や求人情報、またハイスクール資格コースのような学習関連のプログラムや教材を提供していることを知らない。

加えて、成人の大多数が自身を「生涯学習者」と考え、国中の図書館が、そのプログラムやサービスを地方の教育エコシステム（学校のような公的な部分と自発的な学習機会のような非公式な部分の両方で）に見合う役割を果たすように活動している状況下で、こうした意見は出てきている。最近のピュー研究所の報告では、73%の成人が「生涯学習者」とレッテルを貼られている人たちは、こうした状況に「たいへんよく」あてはまっていると答えている。さらに、74%の成人が過去12ヶ月間で様々な種類の個人的学習体験（我々はこうした人たちを個人的学習者と呼んでいる）に参加している。そして過去1年間でフルタイム、またはパートタイムで働く人たちの63%が自分のスキルを向上させるため、コースに参加し、訓練を行っている（我々はこうした人たちをプロ学習者と呼んでいる）。

最近の図書館利用者は圧倒的にこうした考えや活動を喜んで受け入れている。過去12ヶ月間に図書館や移動図書館を利用した優に97%もの人たちは「生涯学習者」という呼び方が「とてもよく」または「かなりよく」あてはまっていると答えており、図書館のウェブサイト利用者(98%)もまた生涯学習者であると強く認識している。その上、過去12ヶ月間に図書館を訪れた84%の人たちが、最近図書館や移動図書館を利用していない66%の人たちに比べ、個人的学習者という我々の定義にあてはまっている。

最近の図書館利用者は、おそらくハウツーものの出版物を読み、個人的な興味に関連あるコースを選び、学習関連のイベントや会合に参加し、そしてオンラインコースを選ぶ傾向にあるようだ。興味深いことに、仕事をしている人たちの間で、最近の図書館利用者はプロ学習者の分類に属するにすぎないようだ。学習への貢献者としての図書館の役割を検討することに加え、この調査はまた図書館利用の中心となる指標であり続けてきた。

公募制推薦入試／英語(前期)

78%程度の成人が図書館に行ったことがあり、一方、44%が過去12ヶ月間に図書館や移動図書館に行ったと答えている。この知見は、物理的に図書館を利用している人の数がいずれの年においても減ってきていることを示している。このことについて2012年12月に行った我々の最初の調査では、53%の成人が過去12ヶ月間に図書館や移動図書館を訪れていた。同じ期間で、図書館のウェブサイトの利用率は横ばいである。2013年、30%の成人が過去12ヶ月間図書館を利用し、その一方で、新しい知見では31%が過去1年間にサイトを利用していた。また、過去12ヶ月で、9%の成人が図書館に関連するアプリを使っていた（この質問に対する初めての記録（データ）である）。

図書館に行ったことがある、という記述とは一致しません。

- ⑧ 第5段落の中程にある“a downward drift…”がこの文の内容と一致します。
- ⑨ 第5段落の説明とこの文は一致しません。
- ⑩ 第5段落の最後には、「過去12ヶ月間に図書館に関するアプリを利用した成人が9%」とあり、この文と内容が一致しません。

【解答】 (31点)

28	①	29	⑥	(5点)				
30	④	31	②	(5点)				
32	②	33	⑤	(5点)				
34	①	35	③	36	④	37	⑧	(順不同OK) (各4点×4)

【解説】

問1

- (A) の空所は、many do not know that libraries offer となります。接続詞 that に注意しましょう。
- (B) の空所は、74% of adults have participated in で、%の表現に注意してください。
- (C) の空所は、no more likely than others to です。2行上に同様の表現があります。

問2

- ① 第1段落の76%が根拠です。
- ② 第2段落にヒスパニックの人たちの記述がありますが、図書館が低所得世帯のニーズより地域社会の学習や教育ニーズにあった提供をしているとは書かれていません。
- ③ 第3段落にこの内容に合致する記述があります。
- ④ 同じく第3段落に63%の労働者が仕事の訓練コースなどで学んだと書かれていますので、この文は本文内容と一致します。
- ⑤ 「生涯学習者」の記述は第3、第4段落にありますが、この文の定義にはあてはまりません。
- ⑥ 第5段落の記述と一致しません。
- ⑦ in the past year は「過去1年間」の意味になりますから、第5段落の約78%の成人がこれまで